

[2021 年度事業計画書]

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

2021 年 6 月 10 日(木)

一般社団法人サステナブル経営推進機構

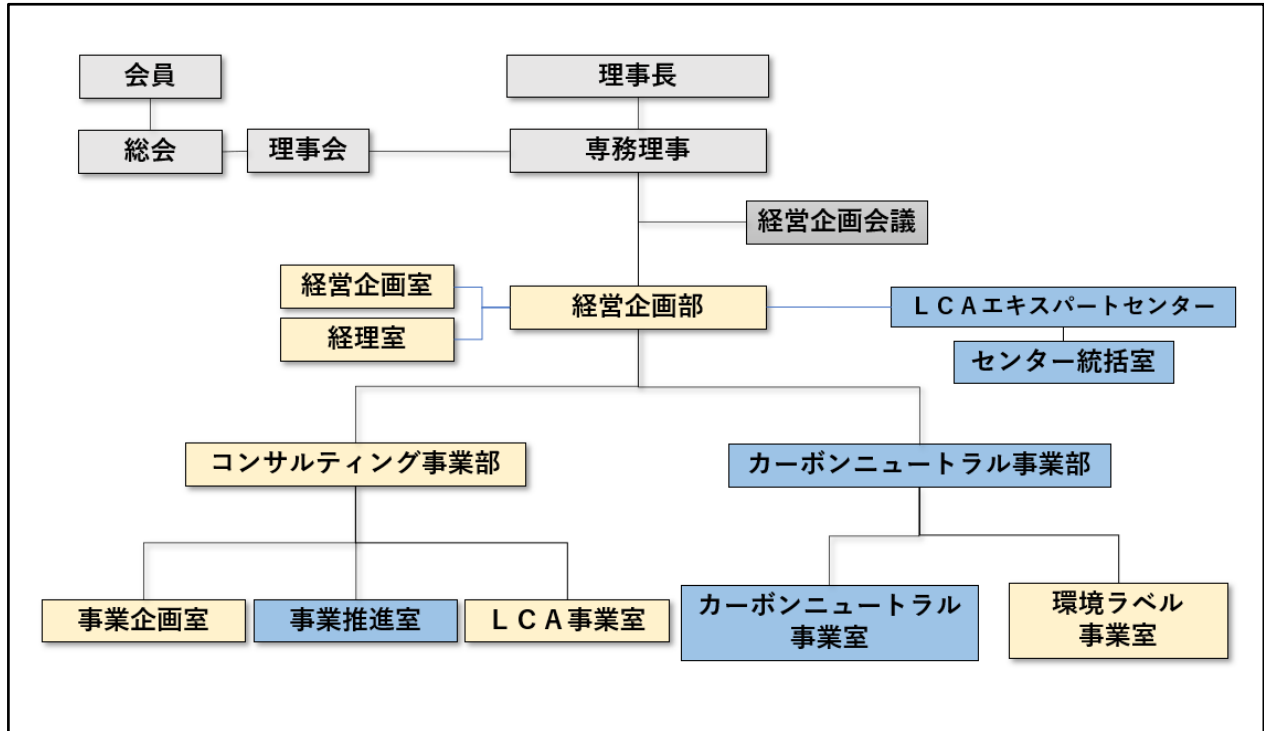
目 次

2021 年度組織図

1 経営企画部	1
1-1 役員及び会員管理業務	1
1-2 人事・労務管理業務	2
1-3 企画広報業務	3
1-4 福利厚生・安全衛生業務	3
1-5 内部環境改善業務（マネジメントシステムの導入）【新規】	3
1-6 情報システム管理業務	3
2 コンサルティング事業部	4
2-1 事業企画室【新設】	4
2-2 事業推進室【新設】	4
2-3 LCA 事業室【移管】	4
3 カーボンニュートラル推進事業部【新設】	4
3-1 カーボンニュートラル推進事業室【新設】	5
3-2 環境ラベル事業室	5
4 LCA エキスパートセンター【新設】	5
4-1 センター統括室【新設】	5
5 名古屋オフィス【新設】	5
5-1 拠点	6
5-2 事業内容	6

一般社団法人サステナブル経営推進機構

2021 年度 組織図



1 経営企画部

経営企画部門の事業活動は、一般社団法人サステナブル経営推進機構 2021 年度事業運営計画を、次のように定め推進する。

1-1 役員及び会員管理業務

(1) 総会

1) 2021 年度 定時総会

開催日時：2021 年 6 月 10 日(木)

(2) 理事会

1) 第 1 回定時理事会

開催日時：2021 年 6 月 10 日(木) 予定

3) 第 2 回定時理事会

開催日時：2021 年 10 月 14 日 予定

4) 第 3 回定時理事会（予算理事会）

開催日時：2022 年 3 月上旬 予定

(3) 会員活動

1) カーボンニュートラル戦略検討会（年 4～5 回： 4/6、4/20、5/10、5/13 予定）【新規】

「カーボンニュートラル 2050」への対応など、SuMPO 会員及びスタッフで構成する研究会を設置し、「サステナブル経営」としての範をなす実行動、共創プロジェクトの草案を目指す。

2) 心豊かな未来ビジネスシンポ（年 2 回： 4/19、12/9 予定）

「サステナブル経営」について思考し、計画し、実行するための会員同士の自由な語り合いの場。共感する新たなプレイヤーの発掘を目的として開催する。

3) 神田塾（年 5 回： 5/13、7/15、9/16、1/27、3/3 予定）

定期的に会員を中心に互いに学び、刺激しあう“神田塾”を開講。今後 10 年、100 年先の未来社会を見据えて機智に富んだゲストを招き、話題提供及びゲストも交えた参加者相互の交流を行う。

4) 国内合宿（年 2 回、北海道津別合宿： 5/21～5/23 予定、沖永良部合宿： 10/15～10/17 予定）

「同じ志を持つ仲間と強いネットワークを形成し、新たな価値を創造できる共創ビジネスの創出を目指す」ため、地域と触れ合い、会員・スタッフ相互の信頼関係を形成する。

5)海外視察（年1回、11/10～11/14 予定）

サステナブル経営を志向するのに必要な情報、知見等を収集するため、会員等を中心とした海外視察を企画、開催する。

6) ステークホルダーミーティング（年1回：8/5 予定）

SuMPO の取組みをつぶさに報告し、経営理念の実現との観点から客観的に検証する場を設け、ご示唆いただいた意見等を次のステップに活かす。

1-2 人事・労務管理業務

（1）働き方改革 「SuMPO ワークライフバランス（WLB）アクションプラン」

（計画期間 2020 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

SuMPO の強みである「人間関係の風通しの良さ」をもって、スタッフ相互が互いの仕事や家庭環境等について言い合い、理解しあえる職場環境づくりを推進する。

もって、適正な労働時間と豊かな生活時間を確保し、スタッフ個々のモチベーションの向上と良質なサービスの提供、さらには家庭をも含めた社会からの信頼・信用を得ることを目的に「SuMPO/WLD アクションプラン」を推進するものとする。

SuMPO ワークライフバランス（WLB）アクションプラン（概要）

目標	対策
目標①：時間外労働の撲滅	・ 組織体制の見直しと人材補強 ・ 業務・工数管理の徹底
目標②：ワークライフバランスの維持・向上に資する就業環境の改善	・ フレックスタイム制度の実施 ・ テレワーク（在宅、その他）の実施
目標③：互いに苦楽を共有し、理解しあえる職場風土を醸成する	・ 社内レビューの活性化・プロジェクト型執行体制の実施

「テレワーク」、「時差出勤」など「SuMPO/WLB アクションプラン」の具体的な行動とともに働き方改革のより一層の推進を図り、併せて感染リスクの軽減にも努めていく。

（2）人材育成研修事業

一般社団法人として活動するにあたり、コンプライアンス意識に基づいた社会人としての行動のための研修及び、管理監督者として必要な知識・役割・マネジメント能力等の習得を図る研修を行う。また、クライアントのニーズ把握など、経営戦略や事業方針に合った施策の立案・実行の能力向上のためコンサルティング・スキルの研修を行う。

1-3 企画広報業務

(1) 広報業務

SuMPO の事業内容や活動状況をさまざまなステークホルダーに広く知らせ、認知・ブランド力を上げていく活動を推進する。ホームページのコンテンツの充実、SNS の有効利用、メールマガジンによる情報発信等により、的確かつ効果的・効率的な広報を行う。

(2) 展示会、イベント等企画・運営業務

日本経済新聞社との共催で第 23 回目となる「エコプロ 2021」を主催する。展示会全体の運営管理を行う主催業務に加えて、国等からの受託事業に係わる展示ブースの企画運営を行い、サステナブル経営推進支援に係わる情報発信を行う。

また、自主事業としてサステナブル経営推進に資する表彰制度「エコプロアワード 2021」を企画し実施する。

1-4 福利厚生・安全衛生業務

新型コロナウイルスの収束には長期間を要することが予想されている。手洗いや人との距離の確保といった基本的な感染対策の実施、感染拡大リスクを高める「3つの密」（密閉・密集・密接）の徹底回避を行い、「コロナ時代の新しい生活様式」及び「働き方の新しいスタイル」の定着を図っていく。

1-5 内部環境改善業務（マネジメントシステムの導入）【新規】

環境マネジメントシステム（EMS）、ワーク・ライフ・バランス（WLB）等の推進に関するマネジメントシステムを導入し女性の社会進出、就労環境の向上と組織の価値向上を行う。

1-6 情報システム管理業務

情報発信セキュリティ機能の一層の強化を図るとともに、「SuMPO/WLB アクションプラン」を推進に向けて、ワークライフバランスの維持・向上に資する就業環境の改善のため、テレワークでの就業環境の整備を引き続き行う。

情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティ管理規程の構成

情報セキュリティ基本方針	情報セキュリティ管理規程
1. 情報セキュリティ管理への取り組み	・ 情報セキュリティ基本方針の公開
2. 情報資産の保護	・ 情報セキュリティに関する統管理体制の構築
3. 法令等の遵守	・ 教育の実施
4. 教育・訓練	・ 情報セキュリティ監査
5. 事故防止と対応	

2 コンサルティング事業部

コンサルティング事業部は、環境・エネルギーを軸とした持続型の地域経済社会づくり及びその経済活動の中心となる企業等へのコンサルティング事業や国等のプロジェクト型事業のマネジメント業務、地域支援事業、LCA 関連事業などを通じて、長期的思考でカーボンニュートラル社会の実現を目指した共創事業の創出を図る。

2-1 事業企画室【新設】

カーボンニュートラルに貢献する事業の社会実装等の国家プロジェクトに関する政策マネジメント及び、革新技术領域における LCA を用いた CO2 削減効果等、調査分析評価事業を行う。また、サステナブル経営を目指そうとする企業、団体に向けた共創事業創出のためのハンズオン支援の実施、世界潮流を知り、長期的な思考で外部環境の情報収集のための海外調査等の計画・執行を行う。

2-2 事業推進室【新設】

地力型地域循環経済社会づくりを理念として、地域の個別企業の経営課題を見出し、地域産業振興に資するコンサルティング事業および、地方公共団体等における循環経済社会構築のための企画立案、導入支援を行う。また、事業企画室、LCA 事業室と連携して信頼あるカーボン情報の流通にむけた基盤づくりを行いカーボンニュートラル社会への移行の実現を図る。

2-3 LCA 事業室【移管】

事業者や工業会等を顧客として、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、LCA エキスパートセンターと連携し、LCA に基づく脱炭素技術の環境影響評価や信頼性の担保、コミュニケーションなどの事業者支援を行う。また、LCA 実施の主要な基盤であるデータベース IDEA、ソフトウェア MiLCA を開発・販売し、ユーザーの支援と継続的な運営を図る。

3 カーボンニュートラル推進事業部【新設】

「カーボンニュートラル 2050」は、長期的には新たな事業機会の創出にも繋がることから、大きな社会的インパクトをもたらしている。その中、製品性能情報（品質、機能、コスト）に加えて、LCA を用いた「カーボンフットプリント」が炭素性能の情報開示として重要な役割を果たすことが予想される。

また、近時、ESG 投資の拡大普及と共に、LCA 算定や「エコリーフ」、「カーボンフットプリント」のニーズが一気に高まり、国内有数の企業等から共通プラットフォームの協働についての申し入れなど相次いでいる。

そこで、ISO 準拠の LCA の算定、レビュー、「エコリーフ」、「カーボンフットプリント」等の製品環境情報のプログラムホルダーとしての実績をもと、「カーボンニュートラル推進事業部」を新たに設置し「カーボンニュートラル 2050」の達成に向けた事業開発とその運用にチャレンジする。

3-1 カーボンニュートラル推進事業室【新設】

「2050 年カーボンニュートラル」の達成に向けて情報収集、調査研究活動、事業戦略の策定を行う。

3-2 環境ラベル事業室

「SuMPO/カーボンニュートラルイニシアブ」の重要な手段としてアクションプランに「環境ラベルプログラム」の「刷新」を掲げ、環境ラベルプログラムのさらなる活用拡大を目指す。

昨今の環境ラベルプログラムへの関心度の高まりを、本プログラムへの社会的要請の大きな変化と捉え、刷新にあたっては、環境ラベル活用事業者へのアンケートの実施、オープン型セミナーの開催等を行い、社会ニーズの把握を行う。

社会的ニーズを基に、カーボンニュートラル社会の実現、及びサステナブル経営の推進へ向けて、環境ラベル活用の方向性を定め、中期ビジョンを策定し、現在の環境ラベルを刷新する。

また、企業の脱炭素化の取り組みが進むにつれ、「自社製品・サービス」での環境情報開示ニーズ向上が予想されるため、脱炭素化促進に向けたコミュニケーション型（対話型）の環境ラベルプログラムの研究・開発に着手する。

4 LCA エキスパートセンター【新設】

カーボンニュートラル対応等としてのライフサイクル CO₂ (LCA)のニーズが世界潮流として急増する中、受け皿となり得る LCA エキスパートとなる人材/機関と、ミッション・戦略・ツール・ノウハウ・マネジメントを共有し、社会課題解決のために LCA スキルを活用するための安定した支援体制の整備を行う。

4-1 センター統括室【新設】

LCA エキスパートセンターを立ち上げ、LCA 需要に適切かつ効率的に対応しうる体制整備等を行う。

5 名古屋オフィス【新設】

全国的な LCA、カーボンニュートラル、あるいは資源循環等のニーズの高まりに対し、幅広く・素早く

対応していくためには、「地域拠点」を整備していくことが重要である。今回は自動車関連企業を中心とした各種製造業の集積地である名古屋に新たなオフィスを構え、全国展開への一歩を踏み出す。

なお、下記の通り名古屋オフィスは株式会社フルハシ環境総合研究所の中に設置を予定しており、各々の強みを生かした相乗効果を期待するものである。

5-1 拠点

愛知県名古屋市中区金山 1-12-14 金山総合ビル 2F（調整中）

5-2 事業内容

- ・名古屋エリアでの LCA 技術者の増員（4 項 LCA エキスパートセンターとの連携）
- ・カーボンニュートラルの理解・周知に向けたセミナー等の拡充（オンラインの活用）
- ・株式会社フルハシ総合研究所のネットワークと SuMPO の技を組み合わせた、名古屋地域のサプライチェーンを総合的に評価する事業の立ち上げ（資源循環を意識）

2021 年度 定時総会 [2021 年度事業計画書] (2021 年 6 月 10 日発行)

一般社団法人サステナブル経営推進機構

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

TEL : 03-6672-3948 URL : <https://SuMPO.or.jp>